



鈴木重像「港座」(昭和)

さかたの

筆・技

資料館収蔵品展

【開催期間】

令和2年

9/5(土) ▼ 11/16(月)

会期中無休

【開館時間】

午前9時～午後4時30分

【入館料】

一般200円 高校生90円

小中学生50円(小中学生は土日無料)

酒田市立資料館所蔵の絵画・書跡・工芸品を、

絵師や職人の歴史と共に紹介します。

酒田市立資料館



酒田市立資料館では、酒田市の歴史や文化等に関する資料を収集しています。近年には、儒学者・伊藤鳳山による「詩書屏風」、指物師・高橋徳五郎の指物、画家・鈴木重像の描いた日本画「港座」などの書画・工芸分野の資料も新しく収蔵しました。

今回は収蔵品展として、これらを含めた約40点の資料を展示し、酒田の書画や工芸の歴史を紹介します。どうぞご覧ください。

●展示内容

1. 酒田ゆかりの文人・画人による書画

書 跡 (伊藤鳳山)
画 軸 (筒井雲泉/狩野了承/常世田長翠/市原円潭/佐藤梅宇/五十嵐雲嶺/芳泉蘭堂/久村清斎/加藤雪窓/根上富治/佐藤公封)

2. 酒田の指物・工芸

指 物 (斎藤兼吉/斎藤正一 (二代目如斎)/高橋徳五郎)
磯草塗 (斎藤八惣八)、光丘彫 ほか

3. 酒田を描く

鈴木重像筆「港座」、紀豊古筆「坂田浦眺望図」
作者不詳「飛鳥旅行」スケッチブック ほか



①



②



③

▲ 酒田の絵師たち 江戸時代に江戸や京都などで学び酒田で活動した絵師や、明治時代に東京美術学校で学んだ画家らの作品を展示。



④

▲ 伊藤鳳山「詩書屏風」 伊藤鳳山は江戸時代後期から明治初期にかけて活躍した酒田出身の儒学者。三河の田原藩に勤め、渡辺崋山・鈴木春山とともに田原三山と称えられた。



⑤



⑥



⑦



⑧

▲ 酒田の工芸 指物の名工・斎藤兼吉が大正時代にパリ装飾工芸博に出展した飾り棚や、斎藤兼吉の弟子であった高橋徳五郎による作品のほか、光丘彫や磯草塗など酒田の工芸品を展示。



⑨

▲ 酒田を描く 江戸時代に制作された画軸「坂田浦眺望図」や、明治時代に酒田海運合資会社が飛鳥へ視察に向かった際のスケッチブック「飛鳥旅行」、酒田出身の画家鈴木重像の描いた「港座」などを展示。



⑩

裏面 掲載資料 ①虎の図〈狩野了承/江戸〉・②山影漁舟図 (部分)〈加藤雪窓/明治〉・③薔薇小禽図 (部分)〈根上富治/昭和〉・④詩書屏風〈伊藤鳳山/江戸〉
⑤飾り棚〈斎藤兼吉/大正、パリ装飾工芸博出品作品〉・⑥指物〈高橋徳五郎/昭和〉・⑦指物〈高橋徳五郎/昭和〉・⑧光丘彫・⑨坂田浦眺望図〈紀豊古/江戸〉
⑩飛鳥旅行 (部分)〈作者不明/明治〉 ※下線は新収蔵品

◆交通アクセス

JR酒田駅より

タクシー 約5分/バス 約9分 (庄内交通バス「大通り商店街」下車、徒歩1分)

庄内空港より

タクシー 約20分/バス 約30分 (シャトルバス「中町」下車、徒歩5分)

日本海東北自動車道「酒田中央I.C」より 約10分



資料館ホームページ